

2019年度 特別栽培コシヒカリ(認証④)ごよみ【直播】



JA 越前たけふ
丹南農林総合事務所
越前市南越前町特別栽培
農産物生産者協議会

月旬別	平成30年		2019年																													
	9月~10月	10月~12月の期間中	4月			5月			6月			7月			8月			9月			9月~10月	10月~12月の期間中										
時期	土づくり	農閑期																					土づくり	農閑期								
水管理	稲わらの踏み込み 作土深15cm以上	湛水管理 (2ヶ月以上)																					稲わらの踏み込み 作土深15cm以上	湛水管理 (2ヶ月以上)								
水管理	土づくり																						土づくり									
管理作業の要点	<p>スタートは土づくりから</p> <p>クイカルは化学肥料としてカウントしない</p> <p>土づくり クイカル 500kg/10a散布</p>		<p>温湯消毒済み種子をカルパーコーティング(JAへ必要量を注文)</p> <p>種子温湯消毒</p> <p>カルパーコーティング種子</p> <p>糸張り(鳥害防止)</p>			<p>現地検査</p> <p>10日間</p> <p>浅水管理で分げつ促進</p> <p>中干し延期</p> <p>中干し</p> <p>幼穂形成期から間断通水 徐々に地固め</p>			<p>現地検査</p> <p>適期刈取 青刈割合10~15% 籾水分 20~25%</p> <p>刈取適期の穂</p>			<p>稲わらの踏み込み 作土深15cm以上</p> <p>湛水管理 (2ヶ月以上)</p> <p>土づくり</p>			<p>湛水管理 (2ヶ月以上)</p> <p>土づくり</p>																	
管理作業の要点	<p>秋耕し 作土深15cm以上</p> <p>生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)</p> <p>次年度に向けて酸性土壌の改善 土づくり資材の散布 クイカル500kg/10aもしくは クイカルホウライ100kg/10a クイカルホウライ100kg/10a クイカルホウライ100kg/10a クイカルホウライ100kg/10a</p>		<p>温湯消毒済み種子による 化学合成農薬の使用を低減する技術 (温湯種子消毒技術)</p> <p>カルパーコーティング カルパー粉粒剤 2倍重 4.6kg/10a カルパーフロアブル カルパー粉粒剤 2倍重 4.6kg/10a カルパーフロアブル カルパー粉粒剤 2倍重 4.6kg/10a カルパーフロアブル</p> <p>播種2~3日前に代掻き 土づくりに関する技術 (堆肥等有機質資材施用技術)</p> <p>土づくり ミネラルPK 60kg/10a カルパーコーティング カルパー粉粒剤 2倍重 4.6kg/10a カルパーフロアブル カルパー粉粒剤 2倍重 4.6kg/10a カルパーフロアブル</p>			<p>化学肥料の使用を低減する技術 (有機質肥料施用技術)</p> <p>基肥 セラコートR444 20kg/10a 5割・乳白米防止対策 5月上旬播種(播種後直ちに糸張り) 薄まき(2.1~2.3kg/10a)</p> <p>化学肥料の使用を低減する技術 (有機質肥料施用技術)</p> <p>基肥 セラコートR444 20kg/10a 5割・乳白米防止対策 5月上旬播種(播種後直ちに糸張り) 薄まき(2.1~2.3kg/10a)</p>			<p>倒伏防止対策 (茎数200本/m以上で注意) スマレクト粒剤 2.8kg/10a こたわり有機 7.12kg/10a こたわり有機 7.12kg/10a こたわり有機 7.12kg/10a</p> <p>幼穂の確認 紋枯病斑の確認(紋枯予防剤の散布) リンパー粒剤 3.54kg/10a 一斉草刈り(7月上旬) 一斉草刈り(7月下旬) 一斉草刈り(7月下旬)</p> <p>倒伏防止対策 (茎数200本/m以上で注意) スマレクト粒剤 2.8kg/10a こたわり有機 7.12kg/10a こたわり有機 7.12kg/10a こたわり有機 7.12kg/10a</p> <p>幼穂の確認 紋枯病斑の確認(紋枯予防剤の散布) リンパー粒剤 3.54kg/10a 一斉草刈り(7月上旬) 一斉草刈り(7月下旬) 一斉草刈り(7月下旬)</p>			<p>出穂前後は湛水管理徹底 出穂前々穂期カメムシ防除 ラジコン 2回目スタークル液剤 1回目MRジョーカー液剤 個人防除 2回目アルパリン粉剤 1回目MRジョーカー粉剤DL</p> <p>間断通水 (収穫2日~3日前まで) フェーン時は予め入水、根の活性化を図る</p> <p>籾水分25%以下で収穫 (9月15日頃)</p> <p>乾燥作業はゆっくり</p>			<p>秋耕し 作土深15cm以上</p> <p>生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上)</p> <p>次年度に向けて酸性土壌の改善 土づくり資材の散布 クイカル500kg/10a クイカル500kg/10a</p>																	
化学肥料窒素 栽培期間中不使用	<p>ミネラルPK 60kg(- kg)</p>		<p>セラコート R444 (2.80kg)</p>			<p>葉色、茎数、草丈に応じてこたわり有機712を施用 (オール有機肥料のため成分カウントはしない) 目安 平地地30kg/10aの2回 山間地25kg/10aの2回</p>			<p>こたわり有機 7.12kg</p>			<p>化学肥料窒素合計 2.80kg</p>																				
節減対象農薬 11成分/10a以内	<p>農薬の使用回数 いずれも1回</p>		<p>ダントツフロアブル (1成分)</p>			<p>カルパー粉粒剤 (1成分)</p>			<p>カウシコンコンプリート粒剤 ジャンボ剤 フロアブル剤 (2成分)</p>			<p>クリンチャー粒剤 (1成分)</p>			<p>オリゼメート粒剤 (1成分)</p>			<p>ラウンドアップ マックスロード液剤 (1成分)</p>			<p>リンパー粒剤 (1成分)</p>			<p>スマレクト粒剤 (1成分)</p>			<p>MRジョーカー粉剤DL (1成分)</p>		<p>アルパリン (1成分)</p>		<p>節減対象農薬合計 11成分</p>	